

## 国内だより

●2018年度日本経済法学会大会を終えて  
—開催校として—

はやし しゅうや

名古屋大学大学院法学研究科教授 林 秀弥

2018年度の日本経済法学会大会は、本年10月13日(土)に、名古屋大学で開催されました。本誌の読者には会員の方も多数おられますので、本学会のことはよく御存知のことかと思いますが、簡単に紹介致しますと、日本経済法学会は1951年に「経済法学会」として設立され、会員数も384名(2017年10月時点)を数え、経済法(競争法)研究の中心的な学会として今日に至っています。日本経済法学会は、少なくとも過去40年では初めての名古屋大学での開催であり、私としても当番校の役目はもちろん初めての経験でした(ただ、いまから20年あまり前に、私がまだ京大の院生だった頃に、同大学で開催された学会の準備を「一兵卒」として手伝ったことはありました)。以下、当日行き届かなかった点の反省も込めて、開催校準備の顛末を記録しておきたいと思います。

今年度の大会では、午前の個別報告が行われたのち、総会と昼食休憩をはさみ、午後に「流通・取引慣行と独禁法—新たな課題に向けて—」をテーマにしたシンポジウムが開催されました。詳しくは学会誌年報を御覧いただければと思いますが、キーワードだけでも羅列しますと、プラットフォーム、同等性条項(MFN)、電子商取引、選択的流通制度、リベートとセット割、といったように、まさに今日的なトピックが議題とされており、例年にもまして活発な議論と質疑が行われていたように思います。ただ、私はそれらを聞く余裕はなく、「弁当の手配は大丈夫か」、「休憩室のコーヒーはまだあるか」、「懇親会の料理の手配に抜かりないか」等々、専らロジのことで頭がいっぱいで、毎年の開催校責任者の先生の御苦勞を垣間見た思いでした。幸い今年も、各報告者の先生の御協力により、早めに当日報告資料をお送りいただくことができたので、開催校としては大助かりでした。この場を借りて御礼申し上げます。

開催準備は約1年に渡りました。開催準備は、開催日の確定を経て開催会場の選定から始まります。これが意外と大変でした。今年の開催日は10月13日の土曜日でしたが、毎年この週の土曜日が名大のホームカミングデーであるため(この日は例年OBや保護者等の外部参加者の来場で大学内は大変混雑します)、これと重なると、会場の確保はおろか、名大で行うことすら危うくなります。まずその調整を行う必要がありました。幸いこの二つが重ならず決まって安心したのも東の間、今度は、13日は大規模な理系の学会が名古屋市内で多数開催されることを知り、それらの予約で早々に名古屋駅周辺の会議

場の確保が困難となりました。また当日はアイドル系のイベントも開催予定であったようで、会員の先生方のホテルの手配は大丈夫だろうかと気を揉む日々が続きました。結果的に名古屋大学内の大講義室を手配しましたが、幸い先生方の反応は好評のようでした。

会場が決まると、当日スタッフの募集、弁当・懇親会の手配、会議資料の用意、構内ゲストWi-Fiの手配、前日の会場レイアウト・理事会/運営委員会準備、当日の受付・集金、録音業務、開催後の経費の事後精算等々、膨大な事務が待っています。名古屋大学も他の多くの大学と同様、経済法の教員は一人しかおらず、かつ当日は同僚教員の援助を得ることも難しかったため(今年の経済法学会の開催日は私法学会と公法学会の開催日と重なっていました)、学会準備のため専任の事務補佐員を雇い入れたほどでした。幸いこの方(小林さんという女性の方です)が大いに助けて下さり、なんとか乗り切れました。今、引き継ぎ書類を書きながら来年度の開催校である東洋大学へ送付する関連資料の準備をしているところです。

当日一番大変なのは、やはりお金の収受です。間違いがあってははいけませんので、たいへん気を使いました。いろいろ工夫したつもりでしたが、参加者は開会直前(開催時間30分前くらい)に一気にお越しになりますので、やはり当日はバタバタしました(受付でお待たせしてしまった先生にはこの場を借りてお詫びいたします)。他の学会では、懇親会費や弁当代等は事前振込にして、開催校の負担を軽減しているところもあると聞いています。今後、検討してみてもよいのではないかと思います。

休憩室ではスターバックス(スタバ)のコーヒー、懇親会では愛知の地酒のコーナーを設けましたが、いずれも好評でした(後者は、富山大学の中出先生のアドバイスによるものです。ありがとうございました)。スタバのコーヒーは早々になくなってしまい、買い足しましたがそれでもすぐなくなってしまいました。これも反省点の一つです。

以上、開催準備にまつわるとりよめのない話を書きましたが、都度都度に懇篤にサポートを下された、理事長の川濱先生、常務理事の先生方、学会事務局の先生方、すべての会員の先生方(当日何人かの先生からはねぎらいの言葉をかけていただき、感激しました)、そして開催準備にご協力いただいた事務補佐員・学生の皆さんには、この場を借りて心より御礼を申し上げます。

